

# 柏崎刈羽原発の再稼働を許さず、市民の命、暮らさねばならぬ



今年も雪の少ない正月を迎えました。昨年は、いまの時期に2メートルを超える積雪となったところもありましたので、それに比べれば今年も随分助かりますね。

昨年、市内では豪雪以外に大規模な災害はなく、比較的落ち着いた一年となりました。こういうときこそ、災害に強いまちづくりをしなければと感じた次第です。

一昨年の総選挙で自民・公明連立の安倍晋三政権が復活して二年目を迎えました。昨年七月の参院選で自民党が大勝したことで、「衆参のねじれ」が解消し、アメリカいいなり、大企業奉仕の政治の暴走が始まっています。

その典型は特定秘密保護法案の強行採決でした。私も12月6日、日比谷野外音楽堂での集会と大規模パレードに参加してきましたが、国民世論の圧倒的多数となった慎重審議や廃案を求める声を無視したやり方は極めて異常なものでした。ただ、一昨年の総選挙と違って参院選では日本共産党が国政選挙では久しぶりに躍進したことから国会も変わってきています。国民世論をバックにした日本共産党議員の論戦は、まさに“自共対決”時代の到来を感じさせるものがありました。

国民の声と生活を無視した暴走は今年、原発から始まりそうな気

配となってきました。政府がこの1月、原発再稼働に向けて、新「エネルギー基本計画」の閣議決定を予定しているからです。このなかでは原子力発電をベース電源とするとしています。

これまでも繰り返しお伝えしたように、柏崎刈羽原発は中越沖地震の際、3665件の事故・故障が発生した原発です。そして使用済み核燃料は一昨年6月段階で、1万3772体にもなっています。いまの原発は過酷事故が発生した時にそれを抑える技術が確立されていません。使用済み核燃料を処分する技術もないんです。そういうなかでの再稼働は絶対許してはなりません。

政治の暴走は、社会保障の分野でも始まるうとしています。介護保険では、「要支援者」から訪問介護と通所介護を取り上げ、特別養護老人ホームから要介護1・2の人たちを締め出すなど、「保険あつて介護なし」が極まるものです。医療分野でも、大病院の外来診療の縮小などを進めようとしています。

私はこうした悪政の暴走を許さず、市民の皆さんとともに、市民の皆さんの命と暮らしを守る政治にするために、全力を尽くす決意です。

市議会議員 橋爪 法一



# 柏崎刈羽原発の再稼働を許さず、市民の命、暮らさねばならぬ



今年も雪の少ない正月を迎えました。昨年は、いまの時期に2メートルを超える積雪となったところもありましたので、それに比べれば今年も随分助かりますね。

昨年、市内では豪雪以外に大規模な災害はなく、比較的落ち着いた一年となりました。こういうときこそ、災害に強いまちづくりをしなければと感じた次第です。

一昨年の総選挙で自民・公明連立の安倍晋三政権が復活して二年目を迎えました。昨年七月の参院選で自民党が大勝したことで、「衆参のねじれ」が解消し、アメリカいいなり、大企業奉仕の政治の暴走が始まっています。

その典型は特定秘密保護法案の強行採決でした。私も12月6日、日比谷野外音楽堂での集会と大規模パレードに参加してきましたが、国民世論の圧倒的多数となった慎重審議や廃案を求める声を無視したやり方は極めて異常なものでした。ただ、一昨年の総選挙と違って参院選では日本共産党が国政選挙では久しぶりに躍進したことから国会も変わってきています。国民世論をバックにした日本共産党議員の論戦は、まさに“自共対決”時代の到来を感じさせるものがありました。

国民の声と生活を無視した暴走は今年、原発から始まりそうな気

配となってきました。政府がこの1月、原発再稼働に向けて、新「エネルギー基本計画」の閣議決定を予定しているからです。このなかでは原子力発電をベース電源とするとしています。

これまでも繰り返しお伝えしたように、柏崎刈羽原発は中越沖地震の際、3665件の事故・故障が発生した原発です。そして使用済み核燃料は一昨年6月段階で、1万3772体にもなっています。いまの原発は過酷事故が発生した時にそれを抑える技術が確立されていません。使用済み核燃料を処分する技術もないんです。そういうなかでの再稼働は絶対許してはなりません。

政治の暴走は、社会保障の分野でも始まるうとしています。介護保険では、「要支援者」から訪問介護と通所介護を取り上げ、特別養護老人ホームから要介護1・2の人たちを締め出すなど、「保険あつて介護なし」が極まるものです。医療分野でも、大病院の外来診療の縮小などを進めようとしています。

私はこうした悪政の暴走を許さず、市民の皆さんとともに、市民の皆さんの命と暮らしを守る政治にするために、全力を尽くす決意です。

市議会議員 橋爪 法一



# 柏崎刈羽原発の再稼働を許さず、市民の命、暮らさねばならぬ



菱田大池公園と山田あきの歌碑

今年、市内では豪雪以外に大規模な災害はなく、比較的落ち着いた一年となりました。こういふときこそ、災害に強いまちづくりをしなければと感じた次第です。

昨年、市内では豪雪以外に大規模な災害はなく、比較的落ち着いた一年となりました。こういふときこそ、災害に強いまちづくりをしなければと感じた次第です。

一昨年の総選挙で自民・公明連立の安倍晋三政権が復活して二年目を迎えました。昨年七月の参院選で自民党が大勝したことで、「衆参のねじれ」が解消し、アメリカいなり、大企業奉仕の政治の暴走が始まっています。

その典型は特定秘密保護法案の強行採決でした。私も12月6日、日比谷野外音楽堂での集会と大規模パレードに参加してきましたが、国民世論の圧倒的多数となった慎重審議や廃案を求める声を無視したやり方は極めて異常なものでした。ただ、一昨年の総選挙と違って参院選では日本共産党が国政選挙では久しぶりに躍進したことから国会も変わってきています。国民世論をバックにした日本共産党議員の論戦は、まさに“自共対決”時代の到来を感じさせるものがありました。

国民の声と生活を無視した暴走は今年、原発から始まりそうな気配となってきました。政府がこの1月、原発再稼働に向けて、「エネルギー基本計画」の閣議決定を予定しているからです。このなかでは原子力発電をベース電源とするとしています。

配となってきました。政府がこの1月、原発再稼働に向けて、「エネルギー基本計画」の閣議決定を予定しているからです。このなかでは原子力発電をベース電源とするとしています。

これまでも繰り返してお伝えしたように、柏崎刈羽原発は中越沖地震の際、3665件の事故・故障が発生した原発です。そして使用済み核燃料は一昨年6月段階で、1万3772体にもなっています。いまの原発は過酷事故が発生した時にそれを抑える技術が確立されていません。使用済み核燃料を処分する技術もないんです。そういうなかでの再稼働は絶対許してはなりません。

政治の暴走は、社会保障の分野でも始まるうとしています。介護保険では、「要支援者」から訪問介護と通所介護を取り上げ、特別養護老人ホームから要介護1・2の人たちを締め出すなど、「保険あつて介護なし」が極まるものです。医療分野でも、大病院の外来診療の縮小などを進めようとしています。

私はこうした悪政の暴走を許さず、市民の皆さんとともに、市民の皆さんの命と暮らしを守る政治にするために、全力を尽くす決意です。

市議会議員 橋爪 法一



# 柏崎刈羽原発の再稼働を許さず、市民の命、暮らさねばならぬ



直峰城址を望む

今年、市内では豪雪以外に大規模な災害はなく、比較的落ち着いた一年となりました。こういふときこそ、災害に強いまちづくりをしなければと感じた次第です。

昨年、市内では豪雪以外に大規模な災害はなく、比較的落ち着いた一年となりました。こういふときこそ、災害に強いまちづくりをしなければと感じた次第です。

一昨年の総選挙で自民・公明連立の安倍晋三政権が復活して二年目を迎えました。昨年七月の参院選で自民党が大勝したことで、「衆参のねじれ」が解消し、アメリカいいなり、大企業奉仕の政治の暴走が始まっています。

その典型は特定秘密保護法案の強行採決でした。私も12月6日、日比谷野外音楽堂での集会と大規模パレードに参加してきましたが、国民世論の圧倒的多数となった慎重審議や廃案を求める声を無視したやり方は極めて異常なものでした。ただ、一昨年の総選挙と違って参院選では日本共産党が国政選挙では久しぶりに躍進したことから国会も変わってきています。国民世論をバックにした日本共産党議員の論戦は、まさに“自共対決”時代の到来を感じさせるものがありました。

国民の声と生活を無視した暴走は今年、原発から始まりそうな気配となってきました。政府がこの1月、原発再稼働に向けて、新「エネルギー基本計画」の閣議決定を予定しているからです。このなかでは原子力発電をベース電源とするとしています。

配となってきました。政府がこの1月、原発再稼働に向けて、新「エネルギー基本計画」の閣議決定を予定しているからです。このなかでは原子力発電をベース電源とするとしています。

これまでも繰り返してお伝えしたように、柏崎刈羽原発は中越沖地震の際、3665件の事故・故障が発生した原発です。そして使用済み核燃料は一昨年6月段階で、1万3772体にもなっています。いまの原発は過酷事故が発生した時にそれを抑える技術が確立されていません。使用済み核燃料を処分する技術もないんです。そういうなかでの再稼働は絶対許してはなりません。

政治の暴走は、社会保障の分野でも始まるうとしています。介護保険では、「要支援者」から訪問介護と通所介護を取り上げ、特別養護老人ホームから要介護1・2の人たちを締め出すなど、「保険あつて介護なし」が極まるものです。医療分野でも、大病院の外来診療の縮小などを進めようとしています。

私はこうした悪政の暴走を許さず、市民の皆さんとともに、市民の皆さんの命と暮らしを守る政治にするために、全力を尽くす決意です。

市議会議員 橋爪 法一



# 柏崎刈羽原発の再稼働を許さず、市民の命、暮らさねばならぬ



今年、市内では豪雪以外に大規模な災害はなく、比較的落ち着いた一年となりました。こういふときこそ、災害に強いまちづくりをしなければと感じた次第です。

一昨年の総選挙で自民・公明連立の安倍晋三政権が復活して二年目を迎えました。昨年七月の参院選で自民党が大勝したことで、「衆参のねじれ」が解消し、アメリカいいなり、大企業奉仕の政治の暴走が始まっています。

その典型は特定秘密保護法案の強行採決でした。私も12月6日、日比谷野外音楽堂での集会と大規模パレードに参加してきましたが、国民世論の圧倒的多数となった慎重審議や廃案を求める声を無視したやり方は極めて異常なものでした。ただ、一昨年の総選挙と違って参院選では日本共産党が国政選挙では久しぶりに躍進したことから国会も変わってきています。国民世論をバックにした日本共産党議員の論戦は、まさに“自共対決”時代の到来を感じさせるものがありました。

国民の声と生活を無視した暴走は今年、原発から始まりそうな気配となってきました。政府がこの1月、原発再稼働に向けて、新「エネルギー基本計画」の閣議決定を予定しているからです。このなかでは原子力発電をベース電源とするとしています。

配となってきました。政府がこの1月、原発再稼働に向けて、新「エネルギー基本計画」の閣議決定を予定しているからです。このなかでは原子力発電をベース電源とするとしています。

これまでも繰り返しお伝えしたように、柏崎刈羽原発は中越沖地震の際、3665件の事故・故障が発生した原発です。そして使用済み核燃料は一昨年6月段階で、1万3772体にもなっています。いまの原発は過酷事故が発生した時にそれを抑える技術が確立されていません。使用済み核燃料を処分する技術もないんです。そういうなかでの再稼働は絶対許してはなりません。

政治の暴走は、社会保障の分野でも始まるうとしています。介護保険では、「要支援者」から訪問介護と通所介護を取り上げ、特別養護老人ホームから要介護1・2の人たちを締め出すなど、「保険あつて介護なし」が極まるものです。医療分野でも、大病院の外来診療の縮小などを進めようとしています。

私はこうした悪政の暴走を許さず、市民の皆さんとともに、市民の皆さんの命と暮らしを守る政治にするために、全力を尽くす決意です。

市議会議員 橋爪 法一



# 柏崎刈羽原発の再稼働を許さず、市民の命、暮らさねばならぬ



今清水の大雪椿

今年、市内では豪雪以外に大規模な災害はなく、比較的落ち着いた一年となりました。こういふときこそ、災害に強いまちづくりをしなければと感じた次第です。

昨年、市内では豪雪以外に大規模な災害はなく、比較的落ち着いた一年となりました。こういふときこそ、災害に強いまちづくりをしなければと感じた次第です。

一昨年の総選挙で自民・公明連立の安倍晋三政権が復活して二年目を迎えました。昨年七月の参院選で自民党が大勝したことで、「衆参のねじれ」が解消し、アメリカいいなり、大企業奉仕の政治の暴走が始まっています。

その典型は特定秘密保護法案の強行採決でした。私も12月6日、日比谷野外音楽堂での集会と大規模パレードに参加してきましたが、国民世論の圧倒的多数となった慎重審議や廃案を求める声を無視したやり方は極めて異常なものでした。ただ、一昨年の総選挙と違って参院選では日本共産党が国政選挙では久しぶりに躍進したことから国会も変わってきています。国民世論をバックにした日本共産党議員の論戦は、まさに“自共対決”時代の到来を感じさせるものがありました。

国民の声と生活を無視した暴走は今年、原発から始まりそうな気配となってきました。政府がこの1月、原発再稼働に向けて、「エネルギー基本計画」の閣議決定を予定しているからです。このなかでは原子力発電をベース電源とするとしています。

配となってきました。政府がこの1月、原発再稼働に向けて、「エネルギー基本計画」の閣議決定を予定しているからです。このなかでは原子力発電をベース電源とするとしています。

これまでも繰り返しお伝えしたように、柏崎刈羽原発は中越沖地震の際、3665件の事故・故障が発生した原発です。そして使用済み核燃料は一昨年6月段階で、1万3772体にもなっています。いまの原発は過酷事故が発生した時にそれを抑える技術が確立されていません。使用済み核燃料を処分する技術もないんです。そういうなかでの再稼働は絶対許してはなりません。

政治の暴走は、社会保障の分野でも始まるうとしています。介護保険では、「要支援者」から訪問介護と通所介護を取り上げ、特別養護老人ホームから要介護1・2の人たちを締め出すなど、「保険あつて介護なし」が極まるものです。医療分野でも、大病院の外来診療の縮小などを進めようとしています。

私はこうした悪政の暴走を許さず、市民の皆さんとともに、市民の皆さんの命と暮らしを守る政治にするために、全力を尽くす決意です。

市議会議員 橋爪 法一



# 柏崎刈羽原発の再稼働を許さず、市民の命、暮らさねばならぬ



三和区岡木から見た信越国境の山々

今年、市内では豪雪以外に大規模な災害はなく、比較的落ち着いた一年となりました。こういふときこそ、災害に強いまちづくりをしなければと感じた次第です。

一 昨年の総選挙で自民・公明連立の安倍晋三政権が復活して二年目を迎えました。昨年七月の参院選で自民党が大勝したことで、「衆参のねじれ」が解消し、アメリカいいなり、大企業奉仕の政治の暴走が始まっています。

その典型は特定秘密保護法案の強行採決でした。私も12月6日、日比谷野外音楽堂での集会と大規模パレードに参加してきましたが、国民世論の圧倒的多数となった慎重審議や廃案を求める声を無視したやり方は極めて異常なものでした。ただ、一昨年の総選挙と違って参院選では日本共産党が国政選挙では久しぶりに躍進したことから国会も変わってきています。国民世論をバックにした日本共産党議員の論戦は、まさに“自共対決”時代の到来を感じさせるものがありました。

国民の声と生活を無視した暴走は今年、原発から始まりそうな気配となってきました。政府がこの1月、原発再稼働に向けて、「エネルギー基本計画」の閣議決定を予定しているからです。このなかでは原子力発電をベース電源とするとしています。

配となってきました。政府がこの1月、原発再稼働に向けて、「エネルギー基本計画」の閣議決定を予定しているからです。このなかでは原子力発電をベース電源とするとしています。

これまでも繰り返しお伝えしたように、柏崎刈羽原発は中越沖地震の際、3665件の事故・故障が発生した原発です。そして使用済み核燃料は一昨年6月段階で、1万3772体にもなっています。いまの原発は過酷事故が発生した時にそれを抑える技術が確立されていません。使用済み核燃料を処分する技術もないんです。そういうなかでの再稼働は絶対許してはなりません。

政治の暴走は、社会保障の分野でも始まるうとしています。介護保険では、「要支援者」から訪問介護と通所介護を取り上げ、特別養護老人ホームから要介護1・2の人たちを締め出すなど、「保険あつて介護なし」が極まるものです。医療分野でも、大病院の外来診療の縮小などを進めようとしています。

私はこうした悪政の暴走を許さず、市民の皆さんとともに、市民の皆さんの命と暮らしを守る政治にするために、全力を尽くす決意です。

市議会議員 橋爪 法一



ひ孫がいるって言うのは、どんな感じなのだろう。元日の午後、柏崎市にある妻の実家を訪ねた際、八九歳になった柏崎の母の様子を見ていてそう思いました。この日、義母は、それこそ最高の笑顔を見せつけてくれたのです。

じつは一二月に柏崎の母の姉にあたる人が亡くなっていました。さぞかし、さみしい思いをしているのではないかと思つたら、孫やひ孫に囲まれてけつこう元気でした。とくにひ孫の「うーちゃん」がいい役割を果たしてくれていました。

「うーちゃん」は川崎市に住む甥（おい）の子ともで、一〇歳の女の子です。正式の名前は「叶」（かなう）と言うのですが、いつの間にか、親も周りの人もみんなが「うーちゃん」と呼ぶようになりました。子どもながら手先が器用で、次々といろんなものを作り出して、みんなを喜ばせてくれます。

この日も、「うーちゃん」の作品が一番の話題となりました。最初に注目したのは柏崎の母にあてた手紙です。縦二〇センチ、横一五センチほどの赤い画用紙に、ひと回り小さな白い紙が貼られ、そこに横書きの文章が書かれていました。

短いので、「きよちゃんへ」と題した手紙の全文を紹介しましょう。  
きよちゃんへ。今年もいがたに来たよ。もう冬だね。きよちゃん、うーちゃん来るのをまつていた？ うーちゃん、はやくきよちゃんに会いたくて、ずーとううずうずしていた。うーちゃんの名前、おぼえてる？ うーちゃんはきよちゃんの名前、ちやーんとおぼえているよ！ 「きよこ」でしょ！ うらにカエルとかがいるから見てね！ うーちゃんより。

柏崎の母の名前は清子です。「うーちゃん」は親しみをこめて「きよちゃん」と呼んでいるのです。気持ちのこもったかわい文章で、文字もきれいでした。びっくりしたのは手紙の裏面でした。折りたたみができる緑色のカエルの折り紙が貼られていたのです。手紙の左右の真ん中を持ち、たたんだり、広げたりすると、貼り付けられたカエルの口が大きく開いたり、閉じたりする仕組みになっていました。あまりにも見事に作られていたので、私も手紙を閉じたり開いたりしながら、カエルの歌が聞こえてくるよ。クワツ、クワツ、クワツ、ケロケロケロケロ、クワツカッカ」と歌ってしまいました。

炬燵の上には小田原提灯もありました。これも「うーちゃん」の作品です。上部と下部には厚紙が貼られ、しっかりと作りになっています。もちろん、ちゃんとたたむことができます。白い円筒形の提灯の上部には赤いボールペンで、「きよちゃん大好き。かわいがってくれてありがとね」と書いてありました。

この提灯を作ることになったきっかけは昨年のお盆の墓参りでした。柏崎の父が眠っている墓参りをした時に提灯の火が簡単に消えてしまったので、火が消えないような提灯づくりを思い立ったというのですから、たいしたものですね。

みんなでお茶飲みをし、作品をほめてるところへ、お風呂から上がったばかりの「うーちゃん」が登場しました。「うーちゃん」は拍手で迎えられました。頭にタオルを巻いた姿の「うーちゃん」はうれしそうでしたが、そのまま真つすぐに柏崎の母のそばへと行きました。柏崎では、大おばあちゃんにつきっきりなのだそうです。

「そう言えば、細々したのを作るの好きなのは母ちゃんやんの血を引いているんじゃないの」と言う声が出たら、柏崎の母も「うーちゃん」もそろって笑顔になりました。

## 2013年、橋爪法一の10大ニュース

新しい年の元旦は穏やかでした。昨年の元旦とは大違いです。近くの山からは小鳥たちのさえずりが聞こえてきました。

年末のバタバタした時でしたが、昨年、私がブログやフェイスブック

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	12月25日(水)	1月1日(水)
上越南消防署	0.040	0.036
上越北消防署	0.057	0.057
新井消防署	0.050	0.043
頸北消防署	0.043	0.056
頸南消防署	0.050	0.043
東頸消防署	0.053	0.057
高土分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.047	0.043

に書いたことをもとに、「私の10大ニュース」をまとめてみました。

①参院選で日本共産党躍進。国政選挙では久しぶりの躍進でした。国会論戦が楽しみになりました。

②2015年春の県議選で出馬へ。12月2日に記者会見で発表しました。

③4冊目の随想集、『あねさかぶり』（同時代社）出版。多くの市民の皆さんから読んでいただき、感謝しています。

④妻が退職。元高田高校教員の村山陽さんから、妻と一緒に似顔絵を描いてもらいました。

⑤『里山資本主義』に感動。これからの暮らしのあり方を考える上でたくさんのヒント

をもらいました。

⑥ガス水道局発注工事の入札談合疑惑で追及。

⑦市議会の委員会インターネット中継スタート。

⑧真宗大谷派の「暁天講座」や高田東ロータリークラブの例会などで講演。このほか、いろんなところから声をかけていただきました。

⑨ドクターヘリが初めて上越市へ。それも吉川区上川谷での交通事故で。

⑩フェイスブックで母が人気集める。おもしろいものですね。母に感謝です。

